

No.112

Zポール・テクノロジー

笹原芳樹
カモシカ・スポーツ



ディスタンス アルミシャフトで従来品と同等の強度で、軽さ、価格など各種バランスに優れる。右端は同社の従来品のストックでも短いタイプだが、新製品がいかにコンパクトかお分かりでしょう

サイズと重量(ペア) 100(33)cm 330g、110(36.5)cm 340g、120(40)cm 350g、130(43)cm 360g ()内は収納時
¥9,660



ディスタンス FL 登山ならこのタイプがベターでしょう。ディスタンスの上段にフリックロックを採用し15~20cmの長さ調整ができます

サイズと重量(ペア) 95~110(33.5)cm 430g、105~125(37)cm 445g、120~140(42)cm 460g ()内は収納時
¥11,550



ウルトラ ディスタンス シリーズ最強のカーボン製。すごく軽いが、軽量化最優先のため強度は従来品の約半分とのこと

サイズと重量(ペア) 100(33)cm 260g、110(36.5)cm 265g、120(39.5)cm 275g ()内は収納時
¥14,700

第三世代ストック出現か!?

あのブラックダイヤモンド社(以下B.D社/U.S.A)から、またしても(注)企画的かつ変わったトレッキングポール(ストック)が新発売されたんです。

社風なのでしようか。このB.D社の各種製品はオリジナリティーにあふれた商品が

多く「オ、オー！すげえ!!」とうならせる物のほか、「何だ。こりゃ?」という物もたまにあります。今回のトレッキングポールはハイカーや登山者のみならずトレイルランナーにも喜ばれそうだし、中年のご婦人によく言われることですが、「小さいザックでも入るストックないの」なんていう希望にも応えられちゃいそうです。というわけで今回のB.D社のストックは、かなりの人たちに「オ、オー!」とうならせる部類の製品だと思えます。

その名も「Zポール」と何となくかつこいいんですけど、たぶん単に3本に折れる構造(各写真参照)からきていると思われる。特徴としては「フリップドディプロイメントシ

ステム」……カタカナの長い文字では訳分りにくいので平たく言う……シャフト(本体の金属部)のオス部のジョイントパーツが円錐形できており、シャフトを両手で引くだけでスムーズに組み立てられ、ボタンを親指で押すだけで解除しバラバラになり、ロックも収納スタイルにもワンタッチで素早くできるというシステムなのです。連結しているインナーコードは強度に優れたケブラーを使用、円錐形部と共に樹脂コーティングされています。

更に他にない特徴としては、チップが交換可能な点です。通常セッティングされているラバーチップであれば、ゴムキャップをせずつもそのまま地面を傷つけにくく、キャップ分の重量も軽量化できます。雪渓や固い地面であれば、従来タイプの金属製カーバイトチップに交換できます(カーバイトチップ用のキャップとしても、またチップを交換するのにも、シナノ社のゴムキャップが便利でした。

モデルは3タイプがラインナップ。2つは長さが固定式(いずれも130cm、110cm、120cm、130cm 4サイズ)。残り1つはフリックロック(つまみを180度動かしてのロック)で長さが変えられます。

Dバックにも収納できそうなほど、超コンパクトかつ軽量です。で2本目、3本目としてもぜひ揃えたいところですね。ウーン欲しい!ただ雪用のバスケットリングが装着できないので無雪期用と割り切った方がいいでしょう。

身長が境界の時は、ハイキングや登山の場合1サイズアップ(Ex. 166cm→120cm)、ランニングの場合は逆(Ex. 167cm→110cm)

固定長タイプのサイズ表	
身長	Z-ポール適正長
152cm 未満	100cm
152~166cm	110cm
167~181cm	120cm
182cm 以上	130cm

(注)「またしても」と言うのには当然理由がある訳で、当時はシャフトを回転させ、中のストッパーで止めたり動かしたりする伸び縮みタイプが多い中、今までにないワンタッチのフリックロックを考案。それなりに調整する必要もあるが、今までの物と比べると格段に楽になった、いわば第二世代のストック。